







3 セグメント別詳細情報 - エネルギーソリューション&マリン

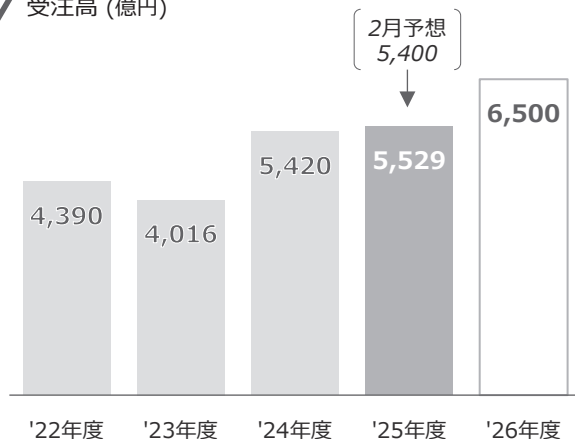
2025年度実績（前期比）

- 受注高**  前期にLPG/アンモニア運搬船を複数隻受注した反動はあったものの、国内向けごみ処理施設の建替工事や国内向けLNG基地大型増強工事を受注したことなどにより増加
+108 億円
- 売上収益**  船舶海洋事業やプラント事業の増収などにより増収
+354 億円
- 事業利益**  一過性損失（売上収益の減額）の発生※はあったものの、増収や採算性の改善などにより増益
+107 億円

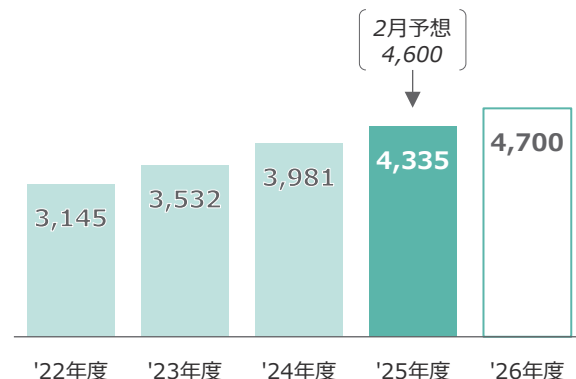
2026年度予想（前期比）

- 受注高**  プラント事業の増加や船舶海洋事業における防衛省向けの増加などにより増加
+971 億円
- 売上収益**  船用推進事業や船舶海洋事業の増収などにより増収
+365 億円
- 事業利益**  増収や採算性の改善、持分法利益の増加などにより増益
+140 億円

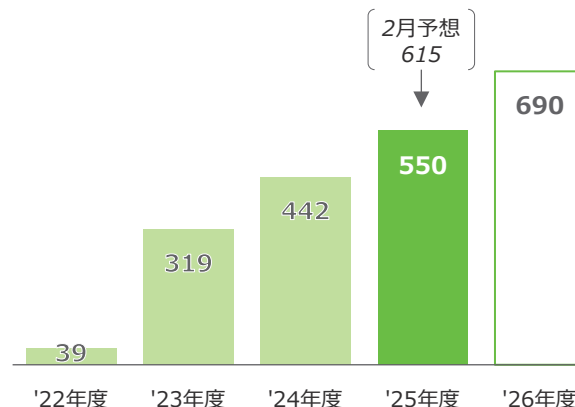
受注高（億円）



売上収益（億円）



事業利益（億円）



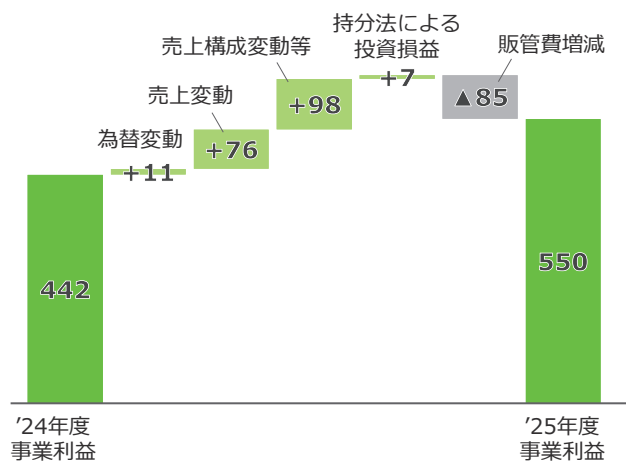
※ '25年12月に特別調査委員会より追加調査報告のなされた潜水艦修繕事業における不正事案の影響等 (https://www.khi.co.jp/pressrelease/news_251226-1.pdf)

3 セグメント別詳細情報 - エネルギーソリューション&マリン

(単位：億円)

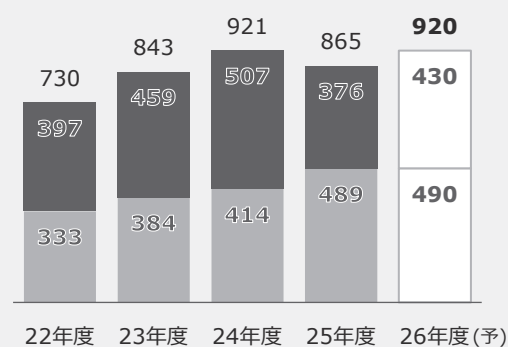
	'24年度 実績	'25年度				'26年度	
		2月予想	実績	前期比	2月予想比	予想	前期比
受注高	5,420	5,400	5,529	+ 108	+ 129	6,500	+ 971
うち エネルギー・プラント・船用推進	3,544	4,400	4,562	+ 1,017	+ 162	5,300	+ 738
船舶海洋	1,876	1,000	966	▲ 909	▲ 34	1,200	+ 234
売上収益	3,981	4,600	4,335	+ 354	▲ 265	4,700	+ 365
うち エネルギー・プラント・船用推進	3,068	3,400	3,239	+ 170	▲ 161	3,450	+ 211
船舶海洋	912	1,200	1,096	+ 183	▲ 104	1,250	+ 154
事業利益	442	615	550	+ 107	▲ 65	690	+ 140
[利益率]	[11.1%]	[13.4%]	[12.7%]	[+ 1.5pt]	[▲ 0.6pt]	[14.7%]	[+ 1.9pt]
うち 持分法投資利益	229	260	237	+ 7	▲ 23	275	+ 38

事業損益増減要因 (億円)

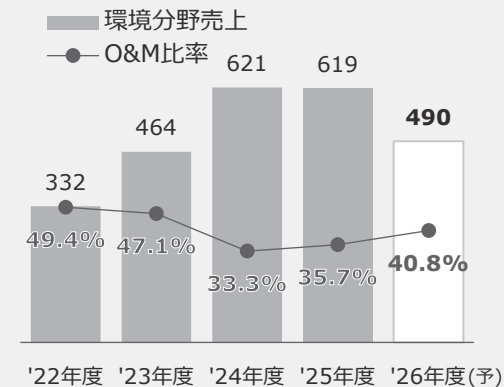


補足情報

エネルギー事業における主要製品の売上 (億円)
(上段：機器関連 下段：アフターサービス)

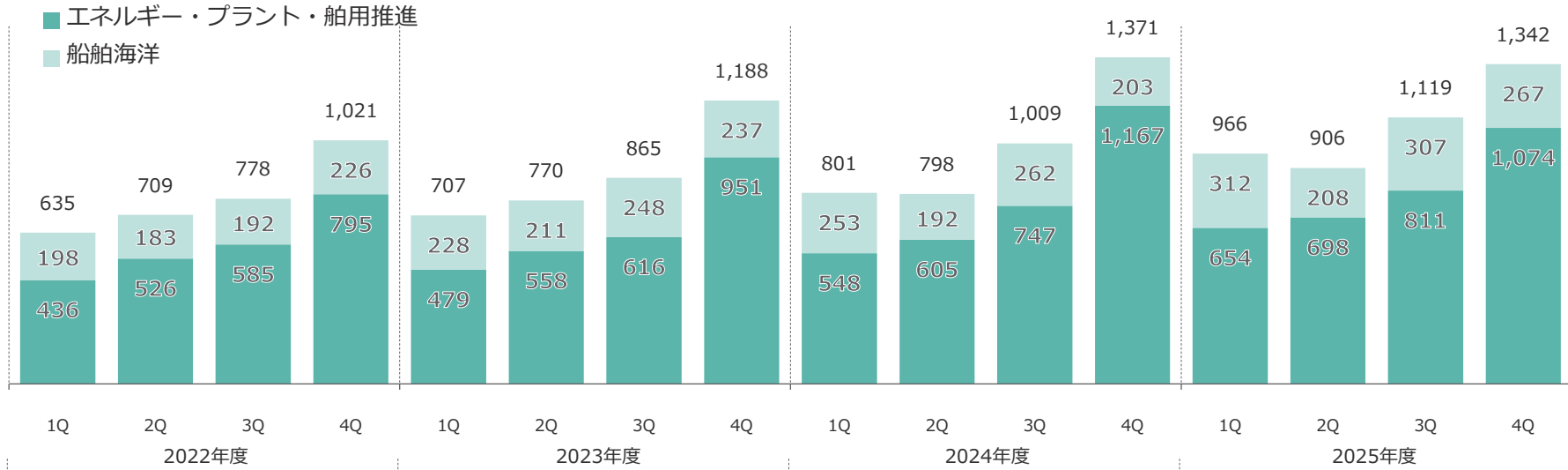


プラント事業における環境分野の売上 (億円)

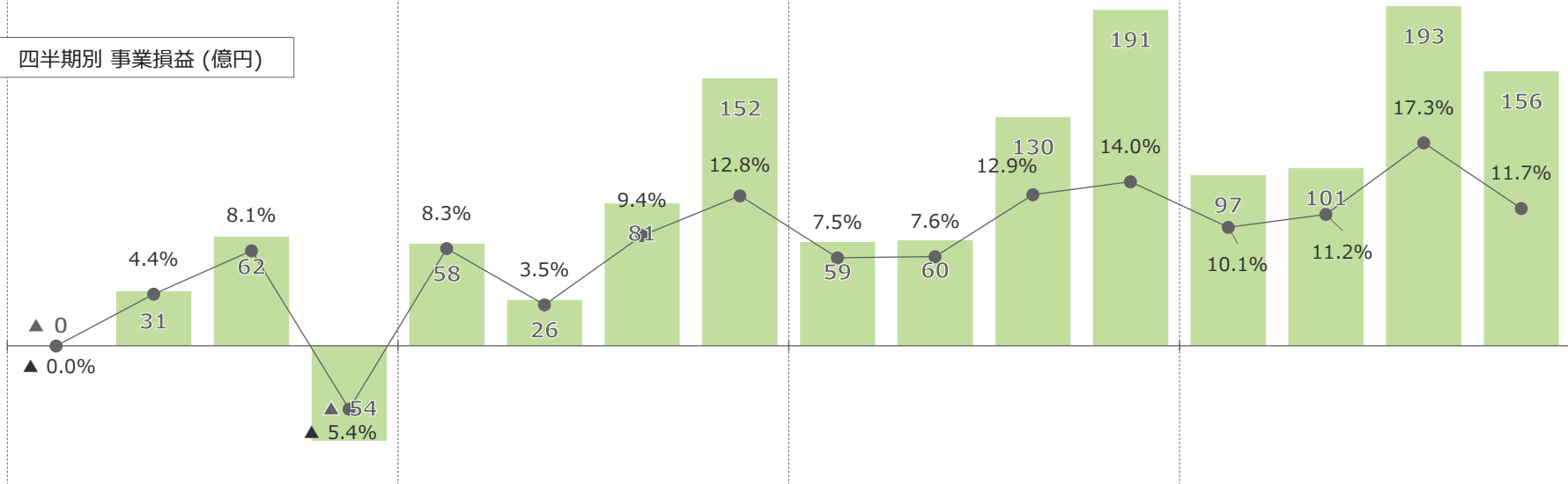


3 セグメント別詳細情報 - エネルギーソリューション&マリン

四半期別 売上収益 (億円)



四半期別 事業損益 (億円)



3 セグメント別詳細情報 - エネルギーソリューション&マリン

事業環境・受注動向

● エネルギー・プラント

国内	海外
<ul style="list-style-type: none"> - 発電設備及びエネルギーインフラ整備の需要が堅調 - ごみ焼却設備の老朽化更新需要の継続 	<ul style="list-style-type: none"> - データセンター向け分散電源用途のガスタービンの引き合いが堅調

● 船舶海洋・舶用推進

商船	艦艇・特殊船
<ul style="list-style-type: none"> - 造船各社は当面の船台を埋めており、商談は先物納期が中心 - 建造コストの上昇や船台需給ひっ迫により船価は高値継続傾向 	<ul style="list-style-type: none"> - 水上艦主機・発電システムの連続受注 - 潜水艦は安定的な受注

● セグメント全体

リスク	カーボンニュートラル
<ul style="list-style-type: none"> - 米国関税政策や中東情勢の影響による物流・為替動向 - 原材料価格や資機材・燃料費、人件費の継続的な上昇 	<p>LNG回帰に伴うトランジションソリューションや、KCC[※]などの脱炭素ソリューションに関する問い合わせや協力要請が増加</p>

※ Kawasaki CO₂ Capture : CO₂分離・回収システム

重点施策と具体的な取り組み

✓ 低炭素・脱炭素社会の実現に貢献する製品・サービスの提供

- 事例
- 1 霧島市(鹿児島県)、会津広域組合(福島県)、県央県南組合(長崎県)で新ごみ処理施設3件を納入、運営業務を開始
 - 2 千葉市からごみ処理施設1件をDBO方式[※]で受注

- 当社独自の高度燃焼制御技術である改良型自動燃焼制御「Smart-ACC[®]」搭載の並行流焼却炉を採用し、高効率で安定した発電を実現
- 施設内の消費電力をまかなうとともに、余剰電力を生み出し、エネルギーの利活用を促進

※ DBO方式 : Design (設計) Build (建設) Operate (運営)



会津若松地方広域市町村圏整備組合向け新ごみ焼却施設の外観

✓ 脱炭素ソリューションの提供へ向けた取り組み

- 事例
- 世界初 水素液化プラント向け遠心式水素圧縮機の実証運転を開始 [プロジェクトボックス P.43](#)

- 超高速回転が可能な、新開発の遠心式圧縮機を用いた高圧縮・省スペース設計を実現
- 新開発の高速回転環境に適した中間冷却技術と高効率インペラによる消費電力削減
- 水素液化プラントや水素パイプラインをはじめとする水素インフラ全般への多用途展開に対応可能



遠心式水素圧縮機の実証設備